

平成31年度

越前市当初予算

事業概要書

## 平成31年度当初予算 事業概要書

No.	所属	事業名称	予算書
1	建築住宅課	本庁舎建設事業	P89
2	財務課	本庁舎建設関連事業（新庁舎包括委託業務）	P91
3	まちづくり・総合交通課	本庁舎建設関連事業（新庁舎内覧会・備品整備）	P91
4	まちづくり・総合交通課	公共交通対策事業（北府駅鉄道ミュージアム整備事業）	P83
5	防災安全課	防災行政無線管理事業（防災行政無線のデジタル化）	P103
6	市民自治推進課	多文化共生推進事業	P89
7	社会福祉課 商業・観光振興課	プレミアム付商品券事業/商業活性化支援事業	P109 /P153
8	商業・観光振興課	観光推進事業（インバウンド事業）	P159
9	商業・観光振興課	観光推進事業（藤波亭改修）	P159
10	商業・観光振興課	ふるさと納税推進事業	P81
11	都市計画課	単独公園整備事業（かこさとし氏を偲ぶ碑周辺整備他）	P171
12	都市整備課	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	P171
13	建築住宅課	まちなか住宅支援事業/新婚夫婦定住化支援事業/住宅支援事業	P173 /P175
14	文化課	公会堂記念館展示整備事業	P201

※ 事業概要書は、新規の予算事業及び既存予算事業の中で、新たな制度の創設や新たな事業展開などによる新規経費を対象とし、事業費が100万円以上のものを適宜掲載しています。

平成31年度 事業概要書		平成31年秋 新庁舎完成！				
		事業名	本庁舎建設事業		担当課	建築住宅課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P89
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
本庁舎建設基本計画のスケジュールに基づき、新庁舎を建設する。 (平成31年度は旧庁舎・別館の解体工事に取り掛かる)						
2. 事業の概要						
平成29年に建設工事及び工事監理業務委託の契約を行い、平成31年秋に新庁舎建設を完了する。 そのため、当該工事費及び工事監理業務委託費を平成29年度から平成31年度までの継続費とする。 また平成31年度は旧庁舎・別館の解体工事に着手する。 〈スケジュール〉 H29. 4月 ~ 新庁舎建設工事 発注準備 (業者選定・入札手続き) H29. 7月 ~ 新庁舎建設工事 本契約・着工 (~H31/10) H29. 8月 ~ 新庁舎建設工事監理業務委託 契約・着手 (~H31/10) H31. 9月 ~ 旧庁舎ほか解体工事 発注準備 (業者選定・入札手続き) H31. 12月 ~ 旧庁舎ほか解体工事 本契約・着工 (~H32/6)						
3. 経費						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設工事監理委託費【継続事業：H29/8~H31/10】 【事業費】 34,500千円 (H29：9,288千円、H30：15,924千円、H31：9,288千円) 【財源】 庁舎建設基金 9,288千円 (H31)</li> <li>・新庁舎建設工事費【継続事業：H29/7~H31/10】 【事業費】 5,832,000千円 (H29：738,849千円、H30：2,966,996千円、H31：2,126,155千円) 【財源】 合併特例債 1,608,400千円 (H31) 庁舎建設基金 517,755千円 (H31)</li> <li>・旧庁舎ほか解体工事費【継続事業：H31/12~H32/6】 【事業費】 188,072千円 (H31：75,228千円、H32：112,844千円) 【財源】 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業費分) 26,630千円 (H31) 公共事業等債 43,700千円 (H31) 庁舎建設基金 4,898千円 (H31)</li> </ul>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		社会資本整備総合交付金		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		合併特例債 (充当率95%) 公共事業等債 (充当率90%) 庁舎建設基金繰入金
		財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額		2,210,671	26,630	1,652,100	531,941	0
写真・イラスト等						

平成31年度 事業概要書		効率的な庁舎管理を実現する新庁舎包括委託															
		事業名	本庁舎建設関連事業 (新庁舎包括委託業務)	担当課	財務課												
会計	一般会計	費目	総務費	予算書	P91												
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり															
1. 事業の目的・効果																	
<p>新庁舎建設に伴い庁内設備が一新され、管理方法や管理者も多様化する。現庁舎では個別委託契約している設備管理等を一元化して包括委託することにより、長期的・計画的な設備管理を行うことができる。また、管理窓口一本化により庁舎管理業務の効率化及び市職員の業務削減を図る。</p>																	
2. 事業の概要																	
<p>個別委託契約または市職員が対応している下記業務について、平成32年1月の新庁舎移転に合わせて包括委託を実施。なお、業者選定については総合評価落札方式とし、平成32年1月から5年間の長期継続契約とする。</p> <p>【包括委託予定業務】</p> <p>①施設設備管理業務 庁舎に導入している設備の点検整備（法定点検含む）を行う。冷暖房や電話交換設備、受電設備等の様々な設備が対象。</p> <p>②施設常駐管理業務 開庁日に常駐業務員を配置する。施設管理に関する窓口となり日常的な管理・点検・修繕対応を行う他、警備業務等も行う。</p> <p>③清掃業務 開庁日に庁舎（執務スペース以外）の日常清掃、年1回庁舎全体に対する定期清掃を行う。</p> <p>④植栽管理業務 庁舎周辺および展望ラウンジの植栽に対し、剪定や除草、堆肥やり等を行う。</p> <p>⑤宿日直業務 閉庁時間帯に業務員を配置し、窓口・電話対応や施錠管理・警備等を行う。宿直は2名、日直は1名（+市職員1名）で対応。</p>																	
3. 経費																	
<p>新庁舎における施設管理等包括業務委託 総事業費 560,500千円（5ヶ年長期継続契約 年額112,100千円） うちH31年度分 28,025千円（H32.1～H32.3の3か月分）</p> <p>包括業務委託費用内訳（1～3月分）</p> <table border="1"> <tr><td>①施設設備管理業務</td><td>12,893千円</td></tr> <tr><td>②施設常駐管理業務</td><td>2,641千円</td></tr> <tr><td>③清掃業務</td><td>4,928千円</td></tr> <tr><td>④植栽管理業務</td><td>200千円</td></tr> <tr><td>⑤宿日直業務</td><td>7,363千円</td></tr> <tr><td>総額</td><td>28,025千円</td></tr> </table>						①施設設備管理業務	12,893千円	②施設常駐管理業務	2,641千円	③清掃業務	4,928千円	④植栽管理業務	200千円	⑤宿日直業務	7,363千円	総額	28,025千円
①施設設備管理業務	12,893千円																
②施設常駐管理業務	2,641千円																
③清掃業務	4,928千円																
④植栽管理業務	200千円																
⑤宿日直業務	7,363千円																
総額	28,025千円																
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】															
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)															
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
予算額	28,025					28,025											
写真・イラスト等																	

平成31年度 事業概要書

本庁舎の各種機能を充実させるための什器備品の整備を行うとともに、本庁舎の竣工に当たり内覧会等を開催します

事業名	本庁舎建設関連事業 (新庁舎内覧会・備品整備)		担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費	予算書
まちづくりの 5本の柱	3. 快適で住みよいまちづくり			

1. 事業の目的・効果

平成32年1月の新庁舎の供用開始に向け、新庁舎の執務室や市民利用機能部分の什器備品を整備し、利用しやすく、働きやすい機能的な庁舎環境を構築する。これにより、来庁者に親しまれる市役所づくり及び業務の効率化を目指す。  
また、新庁舎の竣工後、内覧会等を開催し、新庁舎の完成を市民にPRし、新庁舎や生涯学習センターの利用促進、まちなかのにぎわいづくりにつなげる。

2. 事業の概要

平成32年1月の新庁舎供用開始に向け、机、椅子、キャビネット等の什器備品の整備を行う。なお、整備に当たっては、働き方改革に資するよう、効率的なワークスタイルに対応し、耐久性及びコストパフォーマンスに優れたものを中心に選定するとともに、既存備品の再活用も行っていく。

また、新庁舎の竣工・開庁に合わせ、竣工式及び内覧会、並びに開庁式を執り行う。

〈スケジュール〉

- H31. 4月～5月 新庁舎什器備品購入入札手続
- ～9月 先行納品物の納品
- H31. 10月 新庁舎工事完成
- H31. 11月～ 新庁舎完成検査、建物引渡し
- 購入什器備品搬入
- H31. 12月(予定) 新庁舎竣工式、内覧会
- H31. 12月～H32.1月(年末年始) 引越し
- H32. 1月6日 開庁式、新庁舎供用開始

3. 経費

【主なもの】

- ・新庁舎に係る什器備品購入費(生涯学習センター、議会分含む。) 226,050千円
- ・竣工記念パンフレット作成費他 744千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	其他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		庁舎建設基金 226,050千円			
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	226,794				226,050	744

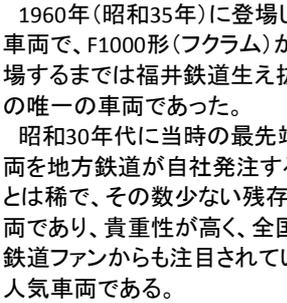
写真・イラスト等



新庁舎外観イメージ



新庁舎内観イメージ

平成31年度 事業概要書		北府駅鉄道ミュージアムの整備に当たり、広場整備調査設計等を実施します				
		事業名	公共交通対策事業 (北府駅鉄道ミュージアム整備事業)		担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P83
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>北府駅周辺では、北府駅本屋、車両工場、バス車庫が国の有形文化財に登録されている。また、北府駅構内には福井鉄道の歴史に触れることのできるギャラリーがあり、駅全体が親しみのもてる博物館となっている。これらの貴重な鉄道文化財と合わせ、福井鉄道の200形車両の保存展示や広場（ミニ公園）整備などを行い、まちなか観光の北の玄関口としての魅力を高め、中心市街地の活性化や福武線乗車人数の増加につなげる。</p>						
2. 事業の概要						
<p>①200形車両の展示保存 福井鉄道のオリジナル車両であり、全国の鉄道ファンから人気の高い200形車両を展示保存し、展示車両での車掌体験など、イベント開催時に活用する。</p> <p>②広場（ミニ公園）の整備 電車が見える広場（ミニ公園）を整備し、家族で遊びながら電車で親しみを感じることができる空間を造る。</p> <p>&lt;平成31年度の事業内容&gt; 広場整備に係る広場整備調査設計委託及び土地鑑定評価業務委託</p>						
3. 経費						
<平成31年度の事業内容>		<平成32年度の事業内容>		<平成33年度の事業内容>		
①広場整備調査設計業務委託費 2,640千円		①詳細設計		①200形車両保存		
②土地鑑定評価業務委託費 138千円				②広場（ミニ公園）整備		
<p>※財源：〔国〕社会資本総合整備交付金（補助率5/10） 〔県〕周遊滞在型観光推進事業県補助金（補助率3/10）※H31は該当なし</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	〔国〕社会資本総合整備交付金（補助率5/10）		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	2,778	1,389				1,389
写真・イラスト等			<p>レイアウト案</p> 			
						

平成31年度 事業概要書		防災行政無線のデジタル化を図ります				
		事業名	防災行政無線管理事業 (防災行政無線のデジタル化)		担当課	防災安全課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P103
まちづくりの5本の柱		4. 安全で安心なまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>国の指導により、現在使用しているアナログ防災行政無線は、平成34年12月以降使用できなくなるため、本庁舎の完成に合わせて防災行政無線のデジタル化を実施することにより防災体制の充実強化を図る。</p>						
2. 事業の概要						
<p>平30年度から平成31年度の継続事業</p> <p>【工事内容】            防災行政無線のデジタル化のための機器設置工事            &lt;更新機器&gt; 無線操作卓（親局、本庁舎）、再送信支局（山間部のアンテナ）7局、屋外拡声受信装置40局、遠隔制御設備（あいぱーく今立）、地区遠隔制御装置（地区公民館）、モーターサイレン設備18基中12基更新、戸別受信機220台（公共施設・福祉施設等）</p> <p>【工事スケジュール】            平成30年9月 工事契約・着工            平成32年3月 工事完了</p>						
3. 経費						
<p>総事業費 443,000千円（平成30年度から平成31年度の継続事業）            平成30年度 7,000千円            平成31年度 436,000千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			緊急防災・減災事業債 (充当率100%、交付税措置70%)	
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	436,000			436,000		
写真・イラスト等	<p>○防災行政無線デジタル化のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電波伝搬距離が長いことから、現在、村国山山頂に設置している中継局が不要になる。</li> <li>・親局で子局の故障状況が把握できるようになる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">無線操作卓イメージ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">無線子局イメージ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">    </div>					

平成31年度 事業概要書

交流から「共生」へ！多文化共生のまちづくりに向けて発進

会 計	一般会計	事業名	多文化共生推進事業 (旧事業名：国際交流推進事業)	担当課	市民自治推進課
		費 目	総務費	予算書	P89
まちづくりの 5本の柱		5. 市民が主役のまちづくり			

1. 事業の目的・効果

本市には、ブラジル人をはじめ平成31年1月1日現在、4,344人（総人口の5.2%）の外国人市民が生活している。近年では市内企業の旺盛な求人背景にブラジル人のさらなる増加と定住化はもとより、ベトナム人やモンゴル人など、外国人市民の多国籍化が一層進んでいる。そこで本市では、日本人市民と外国人市民が互いに国籍や文化の違いを認め合い、安心して住みよいまちを築くため、平成30年度末に市多文化共生推進プランを策定する。平成31年度からは、外国人雇用等企業や関係団体、仁愛大学と連携のもと、プランの推進を図り、多文化共生の地域づくりを強力に推進していく。

2. 事業の概要

越前市多文化共生推進プラン（計画期間：H31-H35）は、基本理念に基づき（1）コミュニケーション支援、（2）生活支援、（3）多文化共生の地域づくり、（4）地域活性化やグローバル化への貢献の4つの基本方針を示し、約60の施策を掲げた。プランの初年度となる平成31年度予算編成にあたっては、プランに掲げた重点施策を中心に推進を図る内容とした。具体的には、プランの重点施策に掲げた、多文化理解の啓発に係る市広報の外国語版発行（3カ国語）や、コミュニケーション支援に係る庁内や観光などの施設における多言語翻訳機の整備。また、外国人市民対象の地域ミーティングでの意見を踏まえ、医療機関等への翻訳機整備に係る補助制度の創設や、日本語教育環境の整備として、国際交流協会の日本語教室事業の拡充。生活者としての外国人支援や地域参画の促進として、町内会の行事やゴミの分別などに係るチラシの多言語翻訳に取組む協力町内の拡大などを進める。なお、教育・保育環境の整備では、小中学校や保育園等に多言語翻訳機の整備を図る。

3. 経費

- ・ 多文化共生推進事業研究会委員謝礼 180千円
- ・ 市広報外国語版発行
  - 委託料 1,357千円
  - 消耗品費 45千円
- ・ 外国人市民支援事業委託
  - 委託料 2,118千円
- ・ 越前市国際交流協会事務室賃借料
  - 建物借上料 1,476千円
- ・ 翻訳機購入費用
  - 備品購入費 990千円（30台分）
- ・ 国際交流推進事業負担金 34千円
- ・ 県、市日中友好協会会費
- ・ 国際交流協会補助金 5,519千円
- ・ 翻訳機購入補助金 550千円（50台分）

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				国際交流基金運用利子 108千円 県市町振興協会交付金 960千円
金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	12,269			1,068	11,201

写真・イラスト等



↑ 多文化共生推進プラン  
「シンボルマーク」

↓平成30年度外国人市民対象地域ミーティング(西小学校)



平成31年度 事業概要書  
(平成30年3月補正含む)

消費税率上げに対する生活への影響緩和と地域における消費喚起・下支え

事業名	プレミアム付商品券事業 商業活性化支援事業	担当課	社会福祉課 商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	民生費・商工費
予 算 書		予 算 書	P109/P153
まちづくりの 5本の柱	5. 市民が主役のまちづくり		

1. 事業の目的・効果

1. 目的  
消費税率の引上げに際し、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行する。(国庫10/10)
2. 実施本部体制と役割分担  
市民福祉部(対象者絞込み)、商業・観光振興課(商品券発行委託)、税務課(非課税者情報)、情報統計課(丹南広域組合電算システム)

2. 事業の概要

1. 対象者：①H31年度の住民税が非課税である者。(課税基準日：H31年1月1日) 12,000人  
※住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護被保護者等を除く。  
②H28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主。(基準日：H31年6月1日) 1,900人(①②重複あり)
2. 対象者の利用可能額：2万5千円(購入額2万円)
3. スケジュール  
H31年 3月 丹南広域組合電算システム改修(～5月)  
H31年 6月 対象者の絞込み  
H31年 7月 非課税通知及び商品券申請様式送付  
H31年 8月 【特設窓口】申請受付開始(～11月)  
H31年10月 【市内量販店等】商品券販売開始

3. 経費

- 【H30年度3月補正(繰越明許)】  
・プレミアム付商品券事業(民生費) 5,217千円(3月補正予算書、P43)  
消耗品費717千円、システム設定委託料500千円、丹南広域組合負担金4,000千円
- 【H31年度当初予算】  
・プレミアム付商品券事業(民生費) 10,040千円  
社会保険料730千円、臨時職員賃金4,377千円、消耗品費423千円、燃料費10千円、印刷製本費1,000千円、通信運搬費3,500千円
- ・商業活性化支援事業(商工費)  
プレミアム付商品券発行事業負担金 84,762千円  
(内訳：発行事務15,262千円、商品券@5千円×13,900人=69,500千円)

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	プレミアム付商品券事務費国庫補助金(10/10) H30：5,217千円、H31：25,302千円		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
	プレミアム付商品券事業費国庫補助金(10/10) H31：69,500千円					
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算 予算額	94,802	94,802				
3月補正 予算額	5,217	5,217				

写真・イラスト等



平成31年度 事業概要書

訪日外国人誘客体制を強化し、観光消費額の拡大を図る！

事業名	観光推進事業 (インバウンド事業)	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費
予算書			P159

まちづくりの5本の柱 5. 市民が主役のまちづくり

1. 事業の目的・効果

我が国では近年大幅に訪日外国人人数が増加しており、平成32年には4,000万人に達するという見方がある一方、本市を含む福井県への訪日外国人客数は全都道府県の中でも著しく劣位にあり、観光消費額への寄与は限定的な状況にある。そのような状況の中、平成30年度に本市でのインバウンド事業推進による観光振興について、その課題等の調査分析や地域に根差した実効性の高い事業推進の方向性について、地方創生推進交付金を活用し取りまとめたところである。その方向性に沿って事業を推進し、観光消費額の拡大を図る。

2. 事業の概要

平成30年度に取りまとめた下記の事業推進の方向性に沿って、平成31年度から2か年をかけ、旅行会社等の専門人材を活用したグローバル・プロモーションやマーケティング事業の展開、産業観光を軸とし、ターゲットを設定したツアーの企画・販売等の誘客事業の展開、訪日外国人誘客のための推進体制も含めた観光協会の機能強化等のインバウンド事業を、県や丹南地域の各市町と連携して推進する。

【事業推進の方向性】

- 産業観光を軸に「越前ブランド」を構築・発信
- 丹南地域や県との連携で越前ブランドの魅力をさらに高める
- 「伝統的工芸品に係るデザイナーやシェフ等の専門家」及び「その予備軍」、「伝統的工芸品に関心を寄せる一般旅行者」とターゲットは三層構造で捉え、複合的な誘客施策の展開を行う
- ターゲットへのアプローチを段階的に進める
- 観光消費額の拡大に資するハードとソフト、組織・人材等を中長期的に整備する

3. 経費

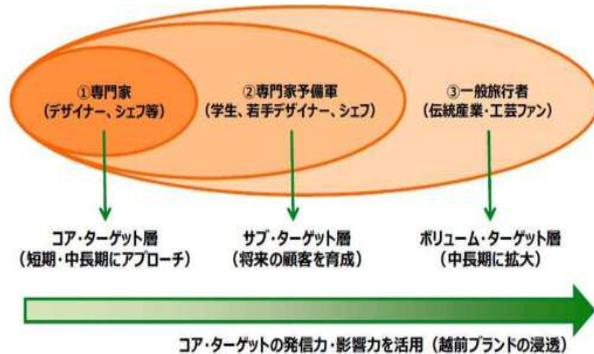
平成31年度については、以下の事業について、越前市観光協会と業務委託契約を締結し、事業を推進する。

- ブランディング  
訪日外国人の誘客に向けた地域住民との事業検討会開催等
- 商品開発  
伝統産業を活用した外国人富裕層向け体験メニュー開発等
- 宿泊権買取及び販売による宿泊施設の整備促進  
海外富裕層に対応できる宿泊施設を改装する意思がある事業者については、改装後の宿泊権の一定程度の買取を行い、その対価として改装資金を提供することで地域に上質な宿泊拠点の整備を促進
- 二次交通の改善に向けた実証実験の実施  
外国人富裕層のニーズを踏まえた車両等による域内移動手段の導入による実証実験（送迎用車両のリース）等
- マーケティング  
精緻なターゲットを規定するための各種リサーチや試作した商品・サービス等の結果に基づく商品価値向上に向けた検証等
- プロモーション  
有力なメディアを活用したプロモーションや海外旅行博、国内商談会への出展、旅行会社へのセールス等
- 受入れ環境整備  
多言語の観光情報発信や体験・宿泊等予約システムWebページの構築等
- 組織の人的費や人材確保、観光事業者も含むおもてなし研修等に必要経費

平成32年度については、採択を受けた地方創生推進交付金の最終年度にあたるため、前年度までの実績等を考慮し、実情を鑑みた訪日外国人等受入れ体制の整備及び誘客事業の推進を行う。

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	地方創生推進交付金 70,000千円	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	140,000	70,000				70,000

写真・イラスト等



平成31年度 事業概要書		藤波亭と紫式部公園との一体的な魅力アップへ				
		事業名	観光推進事業 (藤波亭改修)		担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P159
まちづくりの5本の柱		5. 市民が主役のまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>新幹線開業を4年後に控え、県の周遊滞在型観光推進事業を活用し、藤波亭を国府が置かれた本市の歴史や、本市と紫式部の関係を強くアピールする施設として活用するため、老朽化が目立つ紫式部公園の景観改良工事とあわせて再整備を行う。</p>						
2. 事業の概要						
<p>平成31年度に藤波亭の設計業務を実施し、平成32年度に藤波亭及び紫式部公園の改修工事を実施する。</p> <p>&lt;藤波亭展示内容案（一例）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫式部の生涯や源氏物語のあらすじを紹介、年表、人物関連図、当時の衣裳など。</li> <li>・国府が置かれた本市の歴史や紫式部が越前市にきた時の様子など。</li> <li>・紫式部公園との一体的な魅力向上のため、公園の紹介など回遊性を高める仕掛けを盛り込む。</li> </ul> <p>&lt;スケジュール&gt;</p> <p>H31春 事業者公募 H31夏 事業者選定 H31秋 企画設計業務完了 H32春 藤波亭指定管理期間終了 H32 藤波亭及び紫式部公園改修工事</p>						
3. 経費						
<p>・藤波亭設計業務（展示プロデュース企画及び建物改修設計） 費用：8,375千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 <small>【補助基本額・補助率等を明記】</small>		福井県周遊滞在型観光推進事業補助金（3/10）		その他特定財源の内訳 <small>【支出先・負担率等を明記】</small>		
		金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
予 算 額		8,375		2,512		5,863
写真・イラスト等						

平成31年度 事業概要書

ふるさと納税寄附目標額3億円！「多様な思いに応える」ふるさと納税へ！

事業名	ふるさと納税推進事業	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	企画費
まちづくりの5本の柱	5. 市民が主役のまちづくり		

1. 事業の目的・効果

- 事業の目的  
ふるさと納税を推進することで財源を確保し、持続可能な市財政基盤の確立に貢献する。
- 効果
  - ・越前市の事業推進に必要な財源の確保
  - ・取組みの推進による、本市のまちづくりのPRや返礼品流通による産業振興
  - ・ふるさと納税の趣旨に沿った取組みを推進し、「多様な思いに応える取組み」を推進する自治体としてPR
- 現状  
県内最多の600種類以上に返礼品を拡大させたことにより、寄附額は2億円を超えるまでに増加している。
- 課題と今後の取組み方針  
激化する自治体間競争の中で、寄附額を増額させるには、寄附者の選択肢をこれまで以上に増やしていく必要がある。そのために、返礼品だけではなく決済手段も拡充させるとともに事業そのものに対する寄附募集（クラウドファンディング）をこれまで以上に推進し、そのことを広告媒体でPRしていく。また、新たな寄附受付サイトを開設し、ふるさと納税本来の趣旨に沿い、かつ寄附文化を醸成する取組みを行い、「多様な思いに応える取組みを行う」自治体としてPRを行う。

2. 事業の概要

寄附額3億円を目指す。また、ふるさと納税が持つ本来の、生まれ育ったまちや応援したいまちに寄附をするという趣旨に沿った仕組みを新たに構築することで、そのような寄附の受け手となり、寄附者の選択肢を増やし寄附額の増大を図るとともに、寄附文化を醸成する取組みを行う自治体として本市のPRを行う。

- ☆上記の着実な推進により平成31年5月までに「売れ筋」返礼品を常時550種類まで、平成31年11月までには700種類まで増加させる
- ☆他自治体の返礼品、設定寄附額、相場等を注視し、寄附者のニーズに沿う、細やかな返礼品の拡充や寄附額の設定を行う
- ☆クラウドファンディングについては、ハード事業等を地方創生の観点から支援する取組みを行う
- ☆新たなふるさと納税寄附サイトを構築し、ふるさと納税本来の趣旨に沿い、かつ寄附文化を醸成する取組みを行う自治体としてPRを行う

3. 経費

歳入	歳入（寄附額）の内訳	
300,000千円	ふるさと納税	285,000千円
	クラウドファンディング	15,000千円
歳出		
148,896千円	（報償費・委託料など）	

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	148,896				148,896

返礼品や決済手段の拡充、広報の強化により寄附額3億円を目指す！



「ふるさとを元気にしたい」「思い入れのある自治体に寄附をしたい」といったふるさと納税本来の趣旨に沿い、寄附文化を醸成するような「多様な思いに応える仕組み」を構築！

写真・イラスト等

平成31年度 事業概要書		武生中央公園かこさとし氏を偲ぶ碑				
		事業名	単独公園整備事業 (かこさとし氏を偲ぶ碑周辺整備他)		担当課	都市計画課
会計	一般会計	費目	土木費		予算書	P171
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>(目的) かこ氏が故郷を想う気持ちを表現した碑を公園内に設置することにより、同氏の越前市に対する業績を讃え、感謝するとともに、市民がかこ氏を偲ぶことができる親しみ深い空間として整備する。</p> <p>(設置場所) 平面噴水「宇宙」西側のクスノキの下</p> <p>(整備スケジュール) ①偲ぶ碑 (H30年度12月補正予算) ・整備期間：H31年1月～4月下旬 (繰越明許) ・除幕：H31年4月26日 (金) ②空間整備 (H31年度予算) ・整備期間：H31年10月～H32年3月 ・完成予定：H32年3月</p>						
2. 事業の概要						
<p>①偲ぶ碑設置 1基 (H30年度補正予算) かこ氏が公園再整備の監修のなかで伝えたい「学び」(≒探究心)を育むための根幹的な願い・想いは「平和」であり、この「平和」が伝えられる絵画をレリーフとして設置することにより、市民に同氏の願い・想いを伝えられるものとする。</p> <p>②空間整備 (H31年度当初予算) かこ氏がセツルメント活動で子ども達に紙芝居口演をしていたように、みんなが集まり輪になって好きなことができる場にするとともに、子ども達の創造力、自主性(芸術性・自己主張できる遊び場)を養えるような場として整備する。</p>						
3. 経費						
<p>①H30年度 偲ぶ碑 4,000千円 ②H31年度 空間整備 8,044千円 ※財源(①②)はクラウドファンディング</p>						
国庫・県支出金の内訳 <small>【補助基本額・補助率等を明記】</small>		-		その他特定財源の内訳 <small>【支出先・負担率等を明記】</small>		まちづくり事業基金(クラウドファンディング) (8,044千円)
		財 源 内 訳 (千円)				
		金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
予 算 額		8,044			8,044	
写真・イラスト等						

平成31年度 事業概要書

基本計画に基づき南越駅（仮称）周辺の整備を行います

事業名	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	担当課	都市整備課
会計	一般会計	費目	土木費
予算書		予算書	P171
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住よいまちづくり		

1. 事業の目的・効果

平成27年12月に策定した「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」に基づき、平成35年3月開業予定の北陸新幹線の南越駅（仮称）の周辺（駅前広場・P&R駐車場・周回道路・東口広場・多目的広場）及び南アクセス道路の整備を行う。

2. 事業の概要

【多目的広場】

- ・多目的広場内の調整池の造成工事を行う。また、多目的広場の調整池から松ヶ鼻幹線排水路に放水するための函渠の整備を行う。

【駅前広場・周回道路】

- ・駅前広場のための調整池を整備区域内の北東部に設け、平成31年度はそのための調整池本体のコンクリート構造物の工事を行う。
- ・駅東側の周回道路（市道第4529号線）とP&R駐車場部分における排水構造物の整備を行う。

3. 経費

多目的広場	調整池設置工事	110,000千円	都市再生整備計画 40%
市道第4529号線（周回道路）	道路改良工事	30,000千円	社会資本整備総合交付金 50%
市道第4810号線（南アクセス道路）	用地測量および道路詳細設計業務委託	14,000千円	社会資本整備総合交付金 50%

国庫・県支出金の内訳

【補助基本額・補助率等を明記】

- ・社会資本整備総合交付金（道路事業）補助率：50%
- ・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）補助率：40%
- ・北陸新幹線三駅周辺整備促進事業補助金補助率：市負担額の1/2以内（上限3億円）

その他特定財源の内訳

【支出先・負担率等を明記】

- ・公共事業等債 充当率：90%

金額（千円）	財源内訳（千円）				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	154,205	66,000	36,900	45,900	5,405

写真・イラスト等



平成31年度 事業概要書		定住化促進に向けた支援制度																																																																																																			
		事業名	担当課	建築住宅課																																																																																																	
事業名	まちなか住宅支援事業、住宅支援事業、新婚夫婦定住化支援事業		担当課	建築住宅課																																																																																																	
会計	一般会計	費目	土木費	予算書	P173/P175																																																																																																
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住よいまちづくり																																																																																																				
1. 事業の目的・効果																																																																																																					
<p>人口減少・少子高齢時代を向える中、効率的・効果的な行政運営やまちづくりを進めるため、市総合戦略、第3期市中心市街地活性化基本計画及び市立地適正化基本計画に基づき、市内への転入、まちなか居住の推進や転出防止策として、住宅の取得支援や空き家などの既存ストック活用支援等の各種住宅施策等を図り、定住を促進する。</p>																																																																																																					
2. 事業の概要																																																																																																					
<p>【新婚夫婦定住化支援事業】 …新婚1年以内の夫婦が中心市街地に、又は夫婦のいずれかが転入して市内の民間賃貸住宅に居住する場合に最大2年間の補助</p> <p>【まちなか住宅支援事業：中心市街地内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちなか住宅取得支援事業 …住宅を取得する場合に取得費の一部を補助（市内業者・子育て世帯に加算）</li> <li>○ まちなか優良共同住宅整備促進事業 …共同住宅を建設する場合に共用部分の建設費の一部を補助</li> <li>○ 子育て世帯定住化支援事業 …賃貸住宅に18歳未満の子と同居する世帯が居住する場合に家賃の一部を補助</li> </ul> <p>【住宅取得支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て世帯と移住者への住まい支援事業…住まい情報バンクに登録された中古の一軒家を子育て世帯又は移住者が取得する場合や改修して居住する場合に取得費及び改修費の一部を補助</li> <li>○ 住宅取得支援事業 …居住誘導区域内で住宅を取得する場合に取得費の一部を補助（市内業者施工や区画整理済の未利用地利用時、中古住宅購入時に加算）</li> <li>○ 従業員用共同住宅建設支援事業 …用途地域等の定められた区域内で4戸以上の従業員用共同住宅を建設する場合に建設費の一部を補助</li> <li>○ 公有地等購入資金利子補給金 …居住誘導区域内で公有地を購入し住宅等を建築した場合に借入金の利子の一部を補助</li> <li>○ 空き家リフォーム支援事業 …売買・賃貸を目的に空き家を改修する場合に改修費の一部を補助</li> <li>○ 住宅団地整備事業 …中心市街地内又は居住誘導区域内の区画整理済地で住宅団地を整備する場合に整備費の一部を補助</li> <li>○ 多世帯同居・近居住まい推進事業 …直系親族の世帯が一つ以上増加するために住宅を改修する場合や直系親族の近くに住宅を取得する場合に改修費又は取得費の一部を補助</li> <li>○ 空き家住宅診断支援事業 …住宅診断後住まい情報バンクに登録する場合に診断費の一部を補助</li> <li>○ 防火対策支援事業 …住宅の外壁等を防火改修する場合に改修費の一部を補助</li> </ul>																																																																																																					
3. 経費																																																																																																					
<table border="0"> <tr> <td>【新婚夫婦定住化支援事業】</td> <td>28,000千円（80件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【まちなか住宅支援事業】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちなか住宅取得資金利子補給金</td> <td>278千円（3件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちなか住宅支援事業</td> <td>10,400千円（8件）</td> <td>加算額30万円/件分のみ国費50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちなか優良共同住宅整備促進事業</td> <td>10,000千円（1件）</td> <td>国費50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子育て世帯定住化支援事業</td> <td>1,128千円（8件）</td> <td>国費50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【住宅支援事業】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子育て世帯と移住者への住まい支援事業</td> <td>2,000千円（4件）</td> <td>国費45% 県27.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住宅取得支援事業</td> <td>40,000千円（90件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>従業員用共同住宅建設支援事業</td> <td>30,500千円（新築2件、リバ1件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有地等購入資金利子補給金</td> <td>2,201千円（23件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空き家等リフォーム支援事業</td> <td>4,500千円（6件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住宅団地整備事業</td> <td>2,500千円（1件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多世帯同居・近居住まい推進事業</td> <td>12,500千円（同居11件、リフォーム10件）</td> <td>国費45% 県27.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空き家住宅診断支援事業</td> <td>105千円（3件）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火対策支援事業</td> <td>1,500千円（3件）</td> <td>中活区域のみ国費50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						【新婚夫婦定住化支援事業】	28,000千円（80件）					【まちなか住宅支援事業】						まちなか住宅取得資金利子補給金	278千円（3件）					まちなか住宅支援事業	10,400千円（8件）	加算額30万円/件分のみ国費50%				まちなか優良共同住宅整備促進事業	10,000千円（1件）	国費50%				子育て世帯定住化支援事業	1,128千円（8件）	国費50%				【住宅支援事業】						子育て世帯と移住者への住まい支援事業	2,000千円（4件）	国費45% 県27.5%				住宅取得支援事業	40,000千円（90件）					従業員用共同住宅建設支援事業	30,500千円（新築2件、リバ1件）					公有地等購入資金利子補給金	2,201千円（23件）					空き家等リフォーム支援事業	4,500千円（6件）					住宅団地整備事業	2,500千円（1件）					多世帯同居・近居住まい推進事業	12,500千円（同居11件、リフォーム10件）	国費45% 県27.5%				空き家住宅診断支援事業	105千円（3件）					防火対策支援事業	1,500千円（3件）	中活区域のみ国費50%			
【新婚夫婦定住化支援事業】	28,000千円（80件）																																																																																																				
【まちなか住宅支援事業】																																																																																																					
まちなか住宅取得資金利子補給金	278千円（3件）																																																																																																				
まちなか住宅支援事業	10,400千円（8件）	加算額30万円/件分のみ国費50%																																																																																																			
まちなか優良共同住宅整備促進事業	10,000千円（1件）	国費50%																																																																																																			
子育て世帯定住化支援事業	1,128千円（8件）	国費50%																																																																																																			
【住宅支援事業】																																																																																																					
子育て世帯と移住者への住まい支援事業	2,000千円（4件）	国費45% 県27.5%																																																																																																			
住宅取得支援事業	40,000千円（90件）																																																																																																				
従業員用共同住宅建設支援事業	30,500千円（新築2件、リバ1件）																																																																																																				
公有地等購入資金利子補給金	2,201千円（23件）																																																																																																				
空き家等リフォーム支援事業	4,500千円（6件）																																																																																																				
住宅団地整備事業	2,500千円（1件）																																																																																																				
多世帯同居・近居住まい推進事業	12,500千円（同居11件、リフォーム10件）	国費45% 県27.5%																																																																																																			
空き家住宅診断支援事業	105千円（3件）																																																																																																				
防火対策支援事業	1,500千円（3件）	中活区域のみ国費50%																																																																																																			
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	社会資本整備総合交付金（補助率50%、45%）	其他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	—																																																																																																		
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)																																																																																																			
		国庫支出金	県支出金	地方債	其他	一般財源																																																																																															
予算額	145,612	13,832	4,015		127,765																																																																																																
写真・イラスト等	<p>○ 新婚夫婦定住化支援 ○ 子育て世帯定住化支援 ○ 住宅取得支援 ○ 空き家支援 ○ 防火対策支援 ○ 住宅団地整備支援 ○ 共同住宅整備支援 ○ 公有地購入支援</p> <p>○ 多世帯同居・近居支援</p>																																																																																																				

平成31年度 事業概要書

市ゆかりの人物・事象や郷土の歴史などを題材にした展示を行います。

事業名	公会堂記念館展示整備事業	担当課	文化課
会計	一般会計	費目	教育費
予算書		予算書	P201
まちづくりの5本の柱	2. 元気な人づくり		

1. 事業の目的・効果

武生公会堂記念館で、市ゆかりの人物・事象や郷土の歴史などを題材にした展示や、関連した講演会などのイベントを開催する。展示を通じ、来館者に市民の財産である文化や歴史等に対する理解を深めていただくこととともに、関連する書籍を読んだり、ゆかりの地を訪れたりするなど、来館者の行動につなげて、文化振興やまちづくりに寄与する。

2. 事業の概要

- (1) 特別展・企画展・館藏品展
  - ・特別展『加古里子』(3月21日～5月12日) 30年度・31年度事業  
全国巡回展覧会の初回となる展覧会。  
生涯貫いた信念や作家としての流儀を伝える。併せて、作品に込められた子供達への思いや未来へのメッセージを探る。原画、下絵、資料、絵画を約120種類展示。12作品は全国初公開、うち3作品は本市でのみでの公開。(予定)
  - ・特別展『池上遼一(仮称)』(7月上旬～9月上旬)  
本市出身の劇画家池上遼一氏の全国初の展覧会。  
作品を通して信念や流儀に迫るとともに、時代背景や漫画に対する認識の変化による作風の変遷を探る。
  - ・特別展『加古里子』、特別展『池上遼一(仮称)』における事業連携  
関連施設や観光協会が実施するイベントやサービスと連携を図り、市内の周遊性を高める。  
取組みに入館券を活用することで、連携事業の一体感を高める。
  - ・紫式部・源氏物語関連展 (9月下旬～11月上旬)  
平成31年源氏物語アカデミーのテーマ「源氏物語と雲」と連動し、平安時代の様式美や感性を紐解き源氏物語を探究する。
  - ・特別展『石川九楊(仮称)』(11月下旬～12月下旬)  
書家にして評論家である、本市出身の石川九楊氏の作品を紹介するとともに、書に対する信念や考え方等を探る。
  - ・紫式部・源氏物語関連展、特別展『石川九楊(仮称)』における事業連携  
文化センター等の文化施設や図書館と連携を図り、各施設で関連する作品や資料を展示する。  
紙の文化博物館と連携を図り、「雲」や書道と関連した、打雲、飛び雲等の装飾料紙や書道用和紙を紹介する。
  - ・館藏品展 (1月下旬～2月下旬)  
館藏品を紹介する。
- (2) 常設展  
越前市の歴史を出土品を通して紹介する。展示替コーナーを設け、時節や時事に則した展示で本市の歴史や文化を紹介する。

3. 経費

①特別展・企画展・館藏品展	報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料賃借料	15,452千円
②常設展・その他	報償費・旅費・需用費・役務費	450千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			入館料 4,450千円 図録販売 89千円 実費徴収金 1千円	
金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	15,902			4,540	11,362

写真・イラスト等



常設展



H30年いわさきちひろ生誕100年記念特別展